

マンションサポート福島 <http://ms-fks.org>
代表 鈴木裕人 マンション管理士・一級建築士

【東日本大震災】マンション管理組合の体験談サイトの製作について

3月11日から始まった東日本大震災。当事務所では、今後の大規模災害対策の一助となるべく、被災したマンション管理組合・分譲マンション関係者の体験談を取りまとめ、一般公開のWEBサイトで広く情報を共有することを目指し、「【東日本大震災】マンション管理組合の体験談」サイト (<http://311.ms-fks.org>) の製作を進めております。

サイト名 : 【東日本大震災】マンション管理組合の体験談
URL : <http://311.ms-fks.org>
目的 : 東日本大震災を被災した分譲マンション関係者の体験談の紹介
取材対象 : マンション管理組合関係者（マンション居住者、管理組合理事長・役員、管理会社担当者、管理員、工事担当者、設計事務所、マンション管理士等）
サイト運営者 : マンションサポート福島
代表 鈴木裕人 マンション管理士・一級建築士
〒960-8053 福島県福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 6階
電話 : 024-525-4043 (担当 : 渡邊・安斉) FAX : 024-525-4069
URL : <http://ms-fks.org> E-mail : info@ms-fks.org

次ページからは頂いた体験談から一部を抜粋したのですが、全文の方にも各マンションの貴重な体験が詰まっています。既に十数件の取材を行いました。これからは「復旧工事」に焦点を当てた取材も増やして参ります。また、マンション管理士等の専門家からも数件の寄稿を頂いております。今後の大規模災害対策のヒントとなるよう、どうぞ当サイトをご活用ください。

お問合せ先 : マンションサポート福島 電話 : 024-525-4043 (担当 : 渡邊・安斉) http://ms-fks.org info@ms-fks.org
--

——石巻市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

居住者の中に、ご老人の方で日中一人の方がいるんです。それを知ってたので、その人のところにまず「大丈夫ですか？」って行ったら、ベットがあるんですが、ベッドの上にそのタンスが倒れていて、おばあさんが下敷きになっていたもんですから、タンスを起こして助けました。まあ行くまで凄かったんですけども、色んな物が散らばっていて……

私もその日の夕方に帰ろうとしたんですよ。ある程度落ち着いてきたもんですから、帰ろうとして仙石線という線路の高架橋があるのですが、そこまで行ったものの、もうそれ以上行けなくて、水が増えてきて戻る事もできなくて、結局その高架橋の上で約10人くらいの人と、あの雪の降る中いたんですよ。それで、あまりにも寒くて、流れてきたタイヤとか、当時冬だったもんですから灯油缶とかも流れてくるんですよ。それ全部拾ってですね、火をつけて、それでなんとか夜をすごしたっていう形ですね……

——仙台市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

罹災証明は「全壊」です。私もその2階で揺れに出会ったんですけども、動けなくってしまい、エレベーター塔の軋みとエキスパンションの廊下、渡り廊下の軋みで青ざめましたけどね。初めての経験。コンクリート片がバラバラと大きなものが落ちて、非常に怖かったですね。エレベーターは（シャフト内の）鉄骨が歪んでしまっ……

——多賀城市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

津波でタンクローリーとかねトレーラーとかねザーッと流れて来てね、ここにはまっちゃって。その間にもランクルとかね。それから人がどんどん流れて来て、軽自動車がひっくり返った。そしてドアが開いて女の人が出てきた、コロソ、と。流れは速いし本当に水は冷たいしで、助けられたのは最初の女の人だけでしたね。居住者の着物の帯を結んで2階から引っ張って、縦樋のパイプにつかまらせて引き上げた……

——福島市在住のマンション管理士の体験談から抜粋——

現在、顧問先のマンションでは放射線測定器を購入し、管理組合が共用部分の放射線量を毎日測定して、住民向けに掲示しています。発注してから納品まで2ヶ月余りもかかった測定器は10万円強のいわゆる簡易測定器ですが、自治体が使用しているものと同じ、精度に信頼が置ける日本製で少数第3位まで測定可能なものです。集合玄関、ホール、共用通路、ゴミ置場、駐輪場、プレイロット、歩道上等、当マンションで生活して行く上で毎日利用する場所が測定対象となります。勿論、ルール作りをした上、各居住者にも自室の測定のために貸出をしています……

———仙台市内のマンション管理員の体験談から抜粋———

地震の後の1回目の理事会は、3月はできなくて、4月下旬ですね。皆さんそういう余裕がなかったですからね。4月になってから建物自体をどうするか、って協議をしたみたいですね。それから月1回はやっています。今はもう平常に戻ってしまして、被災した箇所を直す方向で理事会を開いています。先日臨時総会がありまして、予算も決まりまして、あとはやるってことで。工事はだいたい9月初めか8月末か、その頃でしょうか……

———多賀城市内のマンション管理員の体験談から抜粋———

防災無線は全然聴き取れなかった。何を言ってるかわからなくて。消防車と周りの人達の言葉で分かった。上にあがって間もなく、海側の建物裏手の道路からずーっと水が来るのが見えて、そうしているうちにもう、段々、段々。車も停まっていたのは流されて、フェンスもみんな倒されて、こっちの駐車場に停まっているのが流れてきてこっちの道路出たり、っていう状態ですね。

ここら辺ではこのマンションは比較的高かったので、皆ここに集まったんです。その日はもう出られなかったから、それで皆、各部屋に泊めてもらって、っていう感じで。あと前面の道路を通ってた方とか。ご近所の方は20人よりもっといたと思うんですね。日頃は特にご近所との付き合いもそんなにないんだけど、やっぱりここら辺で高い所ってといたら、あの建物かこっちの方かなので。

居住者の皆さんも方も快く泊めてくれたみたいですね。各部屋に分散して。夜中に回った時、一人の方だけ、じゃあ俺ここでいい、って火事（※コンビナート火災）を見ていました。それ以外の方は皆部屋に入って。

以上